

いんちき

紅世集

あうじょう
ようじゅう

紅
閻
魔
の



ONLY
R18
成人指定



紅閻魔の

往生要集

— おうじょうよろよろじゅう —

舌のない のどだけを

使うバキユ
リムフ
エラ

おためしする
でちかか?



平安末期 京都祇園社社地遊郭

そうじや

我をなぐさめよ

歯をたてぬよう

やさしく
つつみこむのじや

—出るぞ

受けとめい!







やはり禿かじろはこうで
なくてはならぬ

小まゝのん

ふあ…

クッ

クッ

クッ

小さくて
愛らしゅうて

犯しとう
なるのお

どうした
どうした

何を言いたい
のか、さっぱり
わからんぞ？

とはいえ、
舌を抜かれ
喉をつぶされて
は言葉にならぬ
も道理か――

あーあーあー

ロクに抵抗も出来ぬ
くせにまつ赤な顔して

涙を流して



実はさそっておるのか？

ならば大したものよ

褒美を
やらねばなあ

あーあーあー

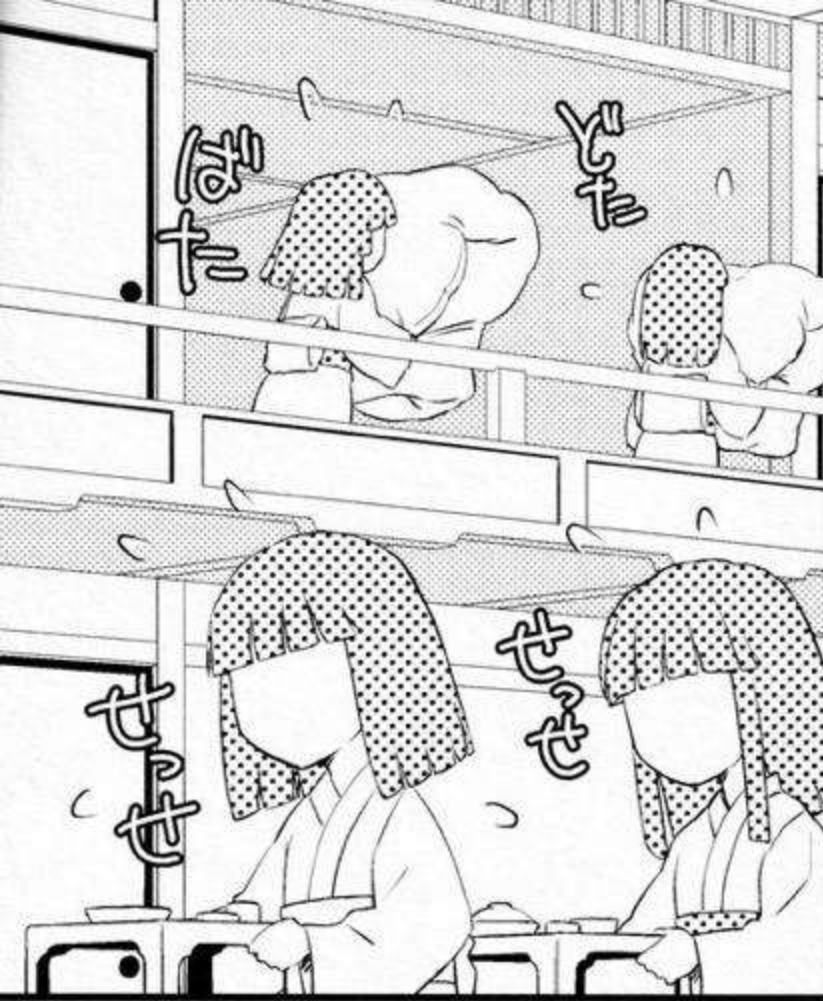
受け取るがよい!!

人間だった頃――

紅は禿かむろでちた

吸い取られるわ





多くは女になると遊女になって
春を売るようになるのでち

遊郭の下働きや遊女の
世話をするのが主な仕事
でちが

禿(かむろ)とは遊郭で暮らす
女童のことで、遊女の子供や
売られてきた子供達でち



*これは江戸時代
(お栄さん画)



かむろの頃から当然のごとく
性にかかわる機会は多く

かむろのまま身を
売るハメになる者達も
おりまちて

貴族に気に入られた
あちきは随分と早い
水揚げをすることになり

思わず逃げてしまいまちた

——そして
捕まり

みせしめとして
舌を抜かれて
のどをつぶされて…

あちきの人生は詰んでしまいました

今になって考えると
アレは魔術か何か
だったかもだね

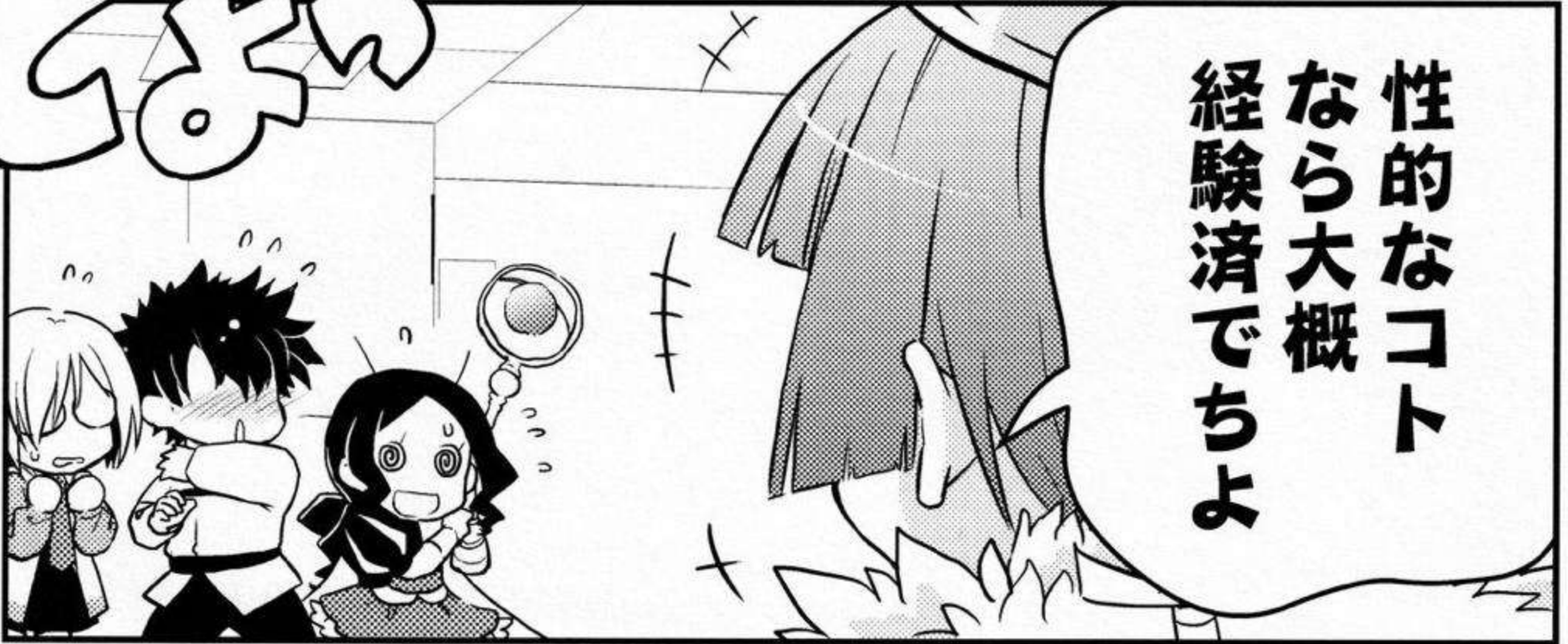
舌を抜かれて生きている
のは変でちから…



という
訳で

性的なコト
なら大概
経験済でちよ

とよ



あちきを買った
貴族は変態でち
たので



ありとあらゆる
”まぐわい“を
あちきで試そうと
しました



...

あちきの体はまだまだ
小さかったので

まぐわうには
無理があまりまちた

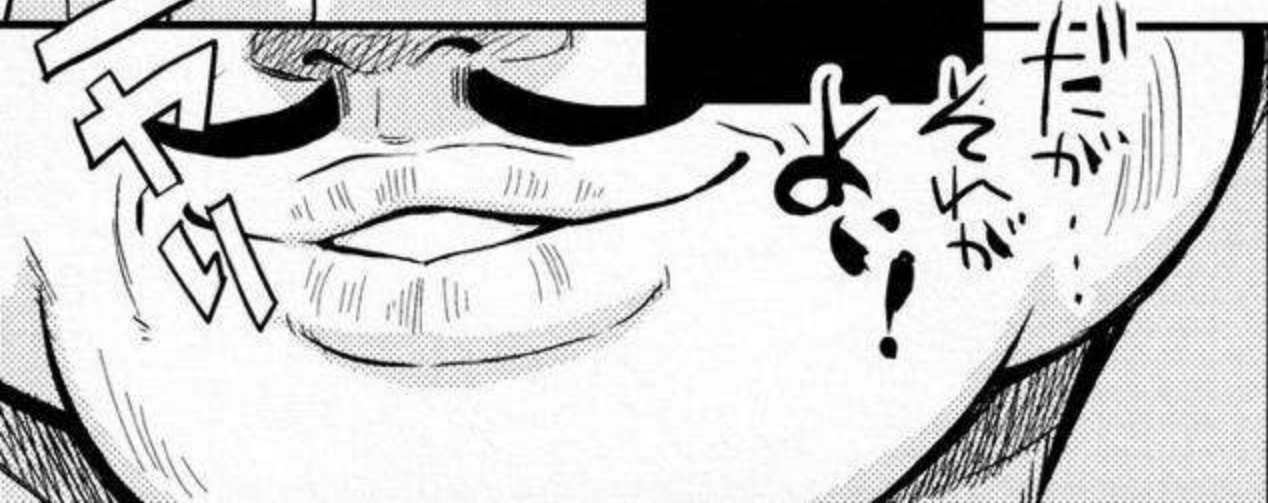
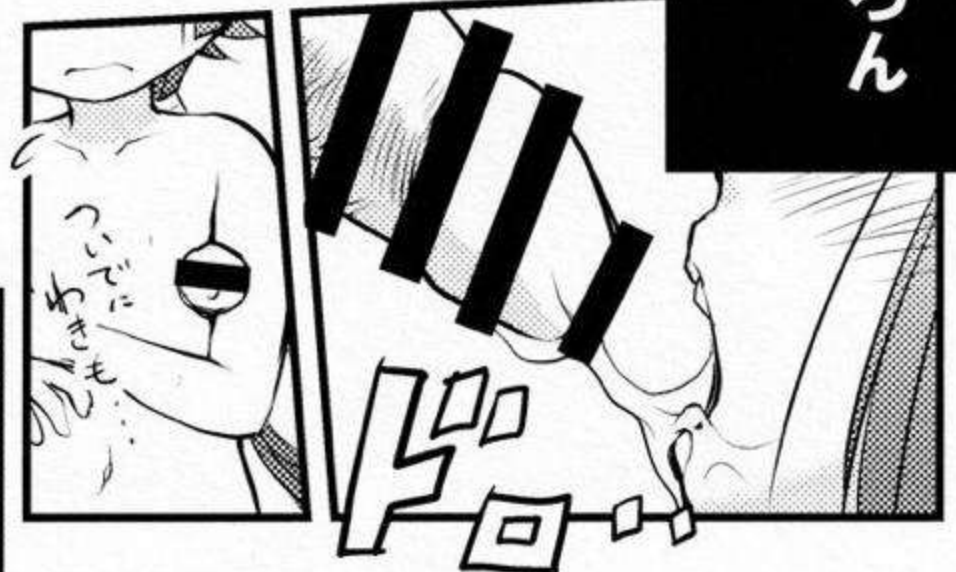
前も



後も



もちろん
口も



※水揚げ＝遊女の初体験のこと、相手は得意先の年長者が選ばれることが多い、もちろん有料



※水揚げの時は
酒を飲まさされ



香(たぶん大麻)を
焚いた部屋の中で

前後不覚のまま
なすがままにされまちた



無理矢理でちた



以降は素のまま

堪忍してくだちやー

泣く、わめくはあたり前——

も……うも……

許して下ちやい

許しを乞うても

必死に抵抗しても

おなかかたプ
タプでち……

毎日のように犯され

もてあそばされる

はあー
うん……

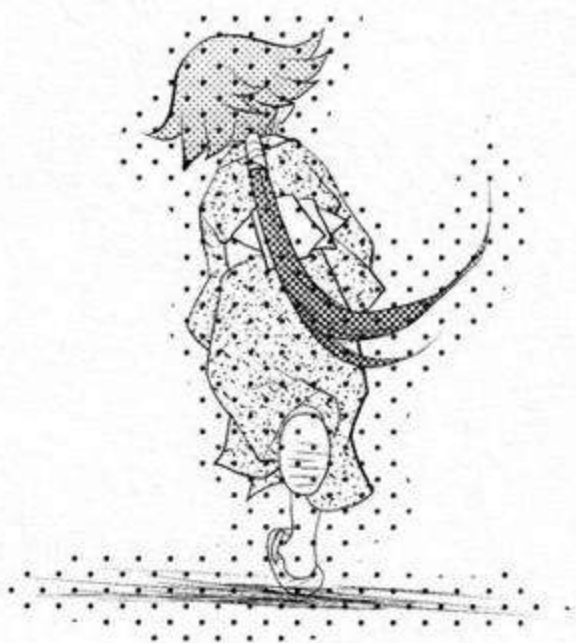
あちきを買った
貴族が悦んでいると

そして、気づいた
んでち……



——あちきが苦しんだり
泣いたりしてるのが、楽しいんだって

そしたらもう
逃げるしかないじゃ
ないでちかか…



まあ結局
逃げたところで
そのまま死んで
しまうのでちが

おかげで主様の
ごやつかいになる
ことも出来るように
なりまちたから

結果オーライ
でちよ♡

強い!

往生要集とは!?

平安時代中期の天台宗の僧・恵心僧都によってまとめられた極楽往生に関する重要な文章を集めた仏教書。この書物で説かれた地獄・極楽の観念、厭離穢土・欣求浄土の精神は、貴族・庶民らにも普及し、後の文学思想にも大きな影響を与えた。いわゆる地獄・極楽の描写はこの書物より始まり、流布され、概念化したと言える

閻魔様がおられる地獄を
創ったと言えるかもしれ
ないでちね♪

地獄



おんたのま様を
編みこませること
だけ考えたりしないの。

主様
紅はゆきとして
使いたくありませんか
うんうん

承張ってご存じ
ありがとうございます
大丈夫です

主様のもの
五かた

主様の指輪かた
おろこト
して下まじり

おーいね
和のりか
おーいね

主様は
おーいね
おーいね

主様を
おーいね
おーいね

あ と が き

1月のイベントでお迎えして以来、20%のNP
チャージ付与というありがたい恩恵を振りまき我
がカルデアの主戦力として活躍してくれている“で
ち”こと紅間魔ちゃん。ボク好みのダークな設定
が大変気に入らして(ギャップ萌え?) イベント
後には早々に同人誌づくりを決めておりました。

前ページに簡単な解説を入れておきましたが、
往生要集というのは平安時代にまとめられた仏
法における地獄と極楽の概念を確立した書籍で
あり。地獄を司る閻魔様、ひいては紅間魔の存在
自体を概念として人々の心に印象づけることに多
大なる影響を与えた書物と言えるでしょう。そん
なわけで紅間魔を形作る過去エピソードという意
味で「紅間魔の往生要集」というタイトルを付け
ました。でね、早々に同人誌づくり決めてたって
言ってたでしょ? そうなんです。ネームづくりはだ
いぶ早い時期に始めていて、5月の連休中に頑
張って進めてたんですよ。

そしたらその時点で40p越えてて、完成させる
のに60p超えが確定しちゃってた。

無理! どう考えても無理!! そんなだけのページ
数描ける余裕全然ないので、泣く泣く、方向変換
して今回の内容に落ち着いたわけでありませう。

追伸: 影さんいつも急なデザイン作業に対応して
くれてありがとう、空ヲさん召喚に応じてくださ
って大感謝です!

またまた

おーいね

ボツ漫画のすじ

往生要集成成立から100年ほど経った平安末期、地獄の主にして裁判官たる閻魔大王は罪を識らずして罪を裁くことに疑問を覚え、この世で最も罪深き場所と称される楼閣に足を踏み入れた。「我に罪を識らしめよ」と要求する閻魔に、楼閣の主にして守銭奴・奪衣婆があてがったのは一人の罪なき少女であった…てな感じで、幼女の敵たるシロウの姿を模した閻魔大王が、守銭奴系と相性の良い女子高生の見かけをした奪衣婆の手引で、無垢な禿の少女にいけないことをしまくった挙げ句。立派な邪淫の徒に堕ちた少女の愛の言葉を聞くのが辛くなって少女の舌を抜いて逃げる…という大変グスい内容ですが、性交渉を愛ゆえの行為と盲信する紅閻魔がとても可愛くてエロいので、ホントは形にしたかったなあ…と。

ページの切れ目が悪くて前後編にも分けられず、どうしようもないのだけれど。あまりにさみしいのでここで紹介しておきます。



女さきうをてらていた

まねとの本棚に
待ておかし

そしていつの間にか

あんな体でエロも
男と女のしつは

たりしたまの
まゆえ

主役は僕で
しめたり聞い
たりはアリス
とつたわらうた

主役
どうしようか

主役は
女のことも

主役のあをそむ
気持もさうして
りたかたわらう

また大きか

主役は僕で
からそ
奪衣婆様にもおれ
して愛おしくした



紅閻魔の往生要集

■ 奥付 ■

背景&アシ協力/空ヲさん

デザイン協力/影忍さん

発行日/2019年8月10日初版発行

印刷/ねこのしっぽ

発行/日本ワルワル同盟

<http://www.waruwaru.com/>

twitter:@aryiaman

- 警告 -

当刊行物の未成年者による閲覧や未成年者への提供を禁じます。

当刊行物の無断複製・放送上映・ネットへのアップロード等の行為を禁止します。
尚、当刊行物を複製した画像情報を不特定多数の閲覧・取得が可能なコンピューターネットワークへのアップロードを固く禁じます。

当方以外による翻訳についても当方は一切関知致しません。
尚、この文言を削除した上で無断転載・翻訳等に及んだ場合でも、違法性は一切軽減されません。

Minors are prohibited from viewing this publication.
Providing this publication to minors is also prohibited.

No unauthorized reproduction, broadcasting, nor displaying will not be tolerated. Furthermore, the uploading of images taken from this publication to any publicly accessible computer network service is strictly prohibited.

Any translation of this publication conducted by parties not expressly given permission by the authors is not sanctioned and we disavow any association with said unauthorized translations.

Furthermore, the elimination of this clause from any scanned reproduction of this publication does not in any way or form lessen the illegality of the unauthorized reproduction and / or translation.

ADULT ONLY
R18
成人指定

2019 SUMMER



日本ワルワル同盟

